

[成果情報名] 諫早湾干拓地における春作マルチバレイショの植付適期

[要約] 諫早湾中央干拓地における春作マルチバレイショの植付適期は、平均気温が8℃に到達する2月下旬がよい。

[キーワード] 春作マルチバレイショ、植付適期

[担当] 総合農林試験場・企画経営部・干拓科

[連絡先] 電話0957-35-1272、電子メールm-kobayashi@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 総合・営農(干拓)

[分類] 指導

-----  
[背景・ねらい]

諫早湾中央干拓地では平成14年から気象観測を開始した。

その中で、中央干拓地の気象値に照らして各種作物の作型設定について検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 中央干拓地における晩霜は3/18前後である。(表1)
2. 長崎県農林業総合情報システムによる作物適地図(メッシュ情報)によると、出芽期の平均気温が8℃以上であれば、70%以上の確率で著しい凍霜害を回避でき、平均気温が8℃に到達する時期を植付け早限としている。平成14年から16年の中央干拓地の気象値に照らすと、植付期は2月下旬となる。(表2)
3. 平成13～16年の標準区(品種：デジマ、窒素14kg/10a)の植付は2/20前後であり、出芽期は3/20前後、萌芽揃い期は3/25前後であり、平均的な晩霜日より遅く晩霜の被害もなかったことから、メッシュ情報による作型設定が適用できる。(表3)
4. 植付から萌芽揃いまでの積算温度は356℃前後であり、平年晩霜日の3/18から逆算した2/1が植付の早限となる。
5. 萌芽揃いからの生育積算温度と収量の関係は図1のとおりである。  
この関係から、目標収量3,200kg/10aが得られる生育積算温度は1,040℃となる。  
梅雨入りの平年値 6/5から、生育積算温度 1,040℃と萌芽揃いまでの積算温度356℃を逆算した3/7が植付の晩限となる。

[成果の活用面、留意点]

1. 「デジマ」での適用である。
2. 諫早湾干拓初期営農対策の指針へ適用する。
3. 萌芽揃い期までの積算温度をもとに、干拓地における萌芽揃い期が予測できる。
4. 生育積算温度をもとに、目標とする収穫量の収穫期が予測できる。
5. 出芽期は日中マルチ下は高温となり、葉焼けなどの障害が発生する危険があるので目出し作業はこまめに行う。

[具体的データ]

表1 晩霜日

年	小江干拓地	中央干拓地
平成11年	03/23	
12年	03/25	
13年	04/02	
14年	03/09	03/19
15年	03/21	03/21
16年	03/08	03/15
平均	03/19 ±8.8	03/18 ±2.5

※14年の中央干拓地晩霜は、計測欠測のため農試本場の気象値からの推測値

表2 中央干拓気象値(旬別平均気温)

月旬	H14年	H15年	H16年	平均
2月上旬	6.1	5.7	4.1	5.3
中旬	5.1	6.7	7.0	6.3
下旬	9.6	9.3	9.8	9.3
3月上旬	9.1	8.1	5.9	7.7
中旬	12.0	9.3	11.4	10.9
下旬	12.5	10.3	12.0	11.6

※H14年3月の数値は欠測値のため農試本場の気象値からの予測値

表3 年次別の出芽期及び萌芽揃い期

年次	植付日	出芽始め	積算温度 (°C)	萌芽揃い 50%出芽	積算温度 (°C)	収穫日	生育日数 (日)	生育 積算温度	総収量 (kg/10a)
13年	02/20	03/23	296.0	03/27	349.2	05/29	63	1,040	3,210
14年	02/20	03/18	267.6	03/26	358.3	05/28	63	1,094	4,140
15年	02/19	03/25	309.0	03/29	348.1	05/28	60	1,048	3,460
16年	01/30	03/17	346.7	03/19	368.9	05/26	68	1,073	4,448
平均		03/20	304.8	03/25	356.1	05/27	63	1,064	3,815
標準偏差		±3.3	±28.4	±3.8	±8.4	±1.1	±2.9	±21.4	±499.6

※品種:「デジマ」 施肥量(kg/10a)14-14-0 種いも: 県内産原々種使用

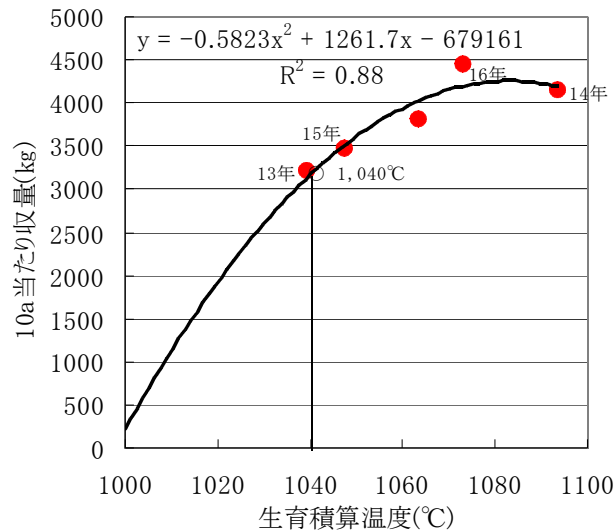


図1 生育積算温度と収量

植付早限期 2/1  
晩限期 3/7

[その他]

研究課題名: 2) 諫早湾干拓営農対策試験(2) 営農対策試験  
 予算区分: 県単  
 研究期間: 2000~2004年度  
 研究担当者: 宮寄朋浩、黒川陽治、小林雅昭